

チュートリアル

[TS1] チュートリアル1

HL7入門

座長：高坂 定（日本HL7協会）

演者：木村 通男（日本HL7協会会長、浜松医科大学教授）、高坂 定（日本HL7協会情報教育委員会委員長）、平井 正明（日本HL7協会技術委員会副委員長）、大櫻 裕之（富士フイルムメディカルITソリューションズ株式会社）

2018年6月21日(木) 13:00～14:30 第1会場(2階・メインホール)

主催：日本HL7協会

会費：日本HL7協会会員 無料、一般参加者 3,000円（当日会場にて受付）

医療情報技師ポイント：1ポイント

[TS1-4] 「実装デモンストレーション」

日本HL7協会は、これまで患者診療情報提供書及び電子診療データ提供書（患者への情報提供）、CDA 文書電子署名規格、文書暗号化規格、可搬電子診療文書媒体規格、診療情報提供書規格（医療機関への紹介状）、健康診断結果報告書規格標準化を進めてきました。その結果は、HELICS指針として採択され地域連携用の診療情報交換に役立っています。今般、それらの標準に加えて退院時サマリーの標準規格を開発しましたので、退院時サマリーの規格概要とその基となるHL7CDAの概要、実装のデモンストレーションを行い紹介します。